



校舎正門(平成24年10月末撮影)

あさひかわ 西高通信

Vol.29

発行：旭川西高東京同窓会

事務局：〒111-0041 東京都台東区元浅草2-10-17

荒川気付

ホームページ：http://旭川西高東京同窓会.jp

第三十一回東京同窓会総会

集おう
ホテルニューオオタニで



実行委員長
二〇期
森 陽一

一〇期登板は、平成五年以来二〇年ぶり二回目となる。私としては、創立準備から関わり携っており、総会も皆勤賞。その「ご褒美」と思いきや、ある先輩曰く「更なる貢献を」と辛口の激励。一五期、二〇期の諸君の応援を得て、快諾と相成った。三一回総会のテーマは「故郷への想い」と決まった。

人の感性は、持って生まれた天性も然る事ながら、生育地の風土・環境が大きく影響すると言われる。直近の「私と旭川」の出来事に触れてみる。

昨年夏、風の便りで耳にしていた案内が届く。「私共の母校聖園中学校が二〇一五年に閉校：については、同期が集い：」。私にとっては、卒業以来五五年振りの同期会、もちろん参加!!(会場、花月)、お元氣な担任二名を含む五名の恩師出席のもと、地元中心に関東、遠くは関西からも、昔のマドンナも、顔を見るなり駆け寄る友、「オーッ」と手

を取る友、「解る?」と顔をのぞきこまれ、あわてて名札(旧姓)を確認、うなづく友等。東京オリンピックレスリングの金メダリスト吉田義勝君の発声で乾杯!! 懐かしい再会とあって、各テーブルに「話の花」が即満開状態。気が付くと「もう締めなの?」瞬く間に時が過ぎていた。二次会、三次会での会話マラソンが続いたのは言うまでもない。翌日、青葉のラーメンを食し、貰った沢山の元氣を胸に機中の人となる。我が人生の源泉「あの頃」に接し、よき師、よき友、よき人生と思わずにはいられない故郷での二日間であった。

古希をこえた今、私にとって、究極の願望は、「呆けず元氣にコロリン」である。その処方箋は、「常に人と関り会話ある生活」と思い心掛けている。その相手が竹馬の友、青春の友であれば、より効果があると信じている。今年も健康長寿の最良薬をゲットする機会がやってくる。現役の若い後輩諸君にとっては、明日への大きな活力源に成る事は、申すまでもない。さあ「集おうニューオオタニで」!! 参加して、第五代荒川新会長の初仕事を、大いに盛り立てようではありませんか。

新会長挨拶
元気で明るい総会に



旭川西高
東京同窓会会長
二〇期
荒川 繁

皆さん初めまして、平成二四年の春から、会長を務めます二〇期荒川でございます。大谷さくら幼稚園、青雲、聖園、西高です。クラブは陸上と写真部に所属しておりました。諸先輩達からよく聞かれる質問は二つで、川端? 大学区制? 私達と次の二一期まで五条で学び卒業しました。

ただし大学区制は私達が最初です。先日、東京旭川会の年次総会で、二〇期東高の中に聖園

中卒の方を見つけましたが、最初は話が中々つながらなく、二人の出した答えは、大学区制はよかったのかな? でした。

さて、今回の東京同窓会の開催場所は、ホテルニューオオタニです。このホテルの最大の特徴は、広くて立派な日本庭園をもっていることと、ホテル内に美術館があることです。少し早目に来るなり、総会後の時間を割くなりして、日本人の心のふるさと庭園を、文化と歴史のふるさと美術館を訪れるのも、今回のテーマに即したものだと思います。

いつものことですが、元気で、明るい総会で皆さんとお会い出来る事を、そしてわが故郷についてお話しできることを楽しみにしております。

第31回総会は ホテルニューオオタニで!!

【開催概要】

開催日：2013年4月13日(土)

総会 13:00~15:00

受付 12:00~

会場：ホテルニューオオタニ

アクセス：赤坂見附駅(地下鉄 銀座線・丸ノ内線)
紀尾井町口 3分

会費：一般会員 8,000円(別途1,000円年会費)
現役学生 無料(別途1,000円年会費)

招待恩師 鈴木 史朗先生(英語)
平田善次郎先生(書道)
山本 勇先生(国語)

テーマ 「故郷への想い」

年を重ねて、故郷旭川への想いが強くなりました。懐かしい故郷の話をしながら楽しい時間を持ちたいと思います。是非ご参加下さい。

東京同窓会の皆様へ

「絆」

旭川西高校長
井戸 尚貴

東京同窓会の皆様には日頃より本校の教育活動に対し、多大なご支援を賜り、衷心より感謝を申し上げます。

三・一一の大震災の時に「絆」という言葉が叫ばれ、日本人が心を一つにしてこの災害から乗り越えようとする機運が醸成されましたが、時間の経過とともに薄らいでいる気がします。

先週、BS放送で戦後の東北を舞台とする「警察日記」という映画が放映されました。捨て子、万引き、無銭飲食などの貧困が故に起きる犯罪とそれを優しく包みこむ登場人物の人情深さや寛容さに強く引きつけられました。それを現代の日本人が何処かに置き忘れてしまったと感じました。閉塞感が強まり、海図のない航海を強いられ現代人には安堵感を得ることができない良質な人間関係を形成することが重要です。その役目を担うのが同窓会の場合であると強く思います。

最後になりますが、東京同窓生の皆様方のご多幸とご健康をお祈りすると共に、本会の益々

のご繁栄を祈念いたします。

お元気ですか!!

旭川西高同窓会長
一九期
高野 正夫

東京同窓会の皆様、おげんきですか!!

四月に三〇周年東京湾クルーズでお会いして早半年余り、いかがお過ごしですか。今夏は、旭川も猛暑そして九月いっぱいまで続き、東京と変わらぬお天気でした。現在（二一月）は、落葉の季節、冬將軍はすぐそこまでやって参りました。今年の旭川同窓会は八月一日に開催、二の付く期が当番となり三二期の大活躍により、四〇〇名余りの参加があり、生徒の吹奏楽演奏も、大変効果絶大でありました。OBと現役の触れる最大の場であり、お互いに伝統の西高を感じ合いました。来年は平成二五年八月一〇日の予定です。

東京の当番期の皆様、お忙しいところ準備等大変だと思いますが、皆様が楽しみにしています。新荒川会長のもと、仲よくチームワークで乗り切ってください。それでは、来年四月又お会いしましょう。お元気です。



招待恩師から

忘れ難い日々

恩師
平田善次郎
(昭和三年・書道
五六年・書道)

私の教員生活四〇年間の中、二三年間が西高勤務で、新卒で五里霧中の若輩教師を育てて頂いたのが西高である。今でも夢を見る場所は五条四丁目の旧校舎の職員室である。

特に忘れ難いのは、昭和四〇年一〇月一七日程、校舎東側が火災消失した時のあの情景である。消失校舎東側二階奥が書道室であった。幸い書道室は焼失を免れたが、水浸しであった。丁度その頃、北海道学生書道展の出品の時期で、見本に書いた私の臨書作品の大きな束が消火水で濡れて煤けてしまった。緊急職員会議を終えて中庭をみると、緑の芝生一面が白い校庭に変貌している。よく見ると書道部の生徒が見本書きした雅仙紙の濡れた束を、そっとはがし、中庭一面に広げて干しているのであった。本年度の出品を諦めていた私は、部員のこの様子に教えられ、翌日から、その見本を各教室で生徒に示し、「逆境にめげず頑張ろう」と訴えた。生徒の目は、ギラギラ輝いていた。その翌日から、生徒が家で書いた

西高「脱」の日々

恩師
山本 勇
(昭和二八年・
四九年・国語)

二二歳から三三歳までの純情多感期?を過ごした西高では、二つの大きな「脱」を得た。

一つは「脱線」。主担当であった新教科の現代国語は指導法が未確立だった。それに便乗し、授業は、漫談・怪談・猥談など脱線につぐ脱線。今は赤面するばかりである。

次は、「脱力」。よき同僚や生徒諸君に恵まれたあの自由闊達な空間で、力みのない発想や思考を存分に学んだ。幸運だった。ただし、本線あつての「脱線」であり、実力あつての「脱力」でなければならぬ。それが身に染み込んだのも西高においてだった。

これらの「脱」体験が、以後

の教職人生のみならず実人生の方向も定めたようなもの。とにかく愉快で濃密な一一年間だった。かわつたすべての方々に深く感謝したい。

そうそう、三つ目の「脱」もあった。西高での後半、「脱毛」が急速に進んだことである。まったくの些事ではあるが、これまた忘れえぬ痛烈な「脱」なのであった。

郷土北海道の絆!
住まいと家族の絆!!!

イワクラホーム42年の知恵と想い!!!!

イワクラホーム

検索

(新築・リフォーム・不動産)は

イワクラグループと伊藤忠商事の出資会社です。

社長 佐々木 与三郎 (西高の絆: 第14期)



北海道と北ヨーロッパ

ノーベル科学賞授賞式に列席して



北海道大学
理事・副学長
一五期
本堂 武夫

旭川で育った私達は、北海道が北方圏の仲間であることに何の疑いももっていないと思います。確かに冬の寒さは厳しく、雪も多いのですが、緯度を見てみると、札幌は南フランスのマルセーユと同じ北緯四三度ですし、稚内はヴェネツィアと同じ北緯四五度です。すなわち、北海道は太陽が燦々と輝く地中海沿岸と同じ緯度にあるのです。このことを忘れて北ヨーロッパに行く、気温は同じくらいでも全く違う景色に戸惑うことになります。一言で言うと「暗い」のです。私には、冬の旭川が「明るい」というイメージはなかったのですが、ヘルシンキやストックホルムの冬はとても暗いのです。太陽の高さが、決定的に違うのです。寒くて暗い冬をどうやってやり過ごすのか、北ヨーロッパの人達の工夫が生きたところでもあるのかもしれない。二〇一〇年一二月に、私は、まったく違う「明るい」冬のストックホルムを見ることができました。鈴木章先生がノーベル化学賞の授賞式に参列される一行

の一員として、随行させていただいたのです。授賞式に合わせ、ノーベルウィーク二〇一〇として、様々なイベントが開催され、街中がノーベル賞で沸き立っているような明るさがありました。もっとも、私にとっては一生涯に一度のことでも、ストックホルムの市民にとっては毎年の恒例行事で珍しくはないので、一週間でした。授賞式の晴れがましさは格別ですが、豪華な晩餐会も忘れがたい思い出です。鈴木先生ご夫妻は、私達と同じホテルに滞在して、ほぼ毎日朝食をご一緒させて頂きましたが、ご高齢にもかかわらず疲れも見せず、いつもにこやかに接していただきました。写真は、ノーベル財団主催のレセプションに向かう前に、ご夫妻を囲んで撮った一枚です。あちこちの会場に移動するとき、ご夫妻だけは特別手配のリムジンでしたが、「皆さんと一緒にの方が楽しいの」と言ってお下さる、心遣いの優しいご夫妻でした。



北海道大学一年生
平成二十四年三月卒
松岡 亮

IESOは、高校生のための

国際地学オリンピック
(IESO)に参加して

前列中央鈴木先生御夫妻
後列右から2人目筆者

もっていることに感嘆致しました。受験勉強漬けにならない、深刺とした若者を輩出することのできる旭川西高に可能性を感じた次第です。何年か前に、数十年前ぶりに母校を訪問した時に、廊下ですれ違う生徒がみんな明るく元気に「こんにちは！」と挨拶をしてくれることに感心したことを思い出しました。そういう教育環境を醸成し続けてゆけば、きっと世界で輝く人材が出て来ると信じております。ストックホルムより明るく、寒い冬の北海道をいっそう明るくしてくれるに違いありません。

地学の知識・技能を競う世界大会です。私が最初にこの大会に挑戦したのは一年目の冬でした。その時は思いがけず、一次予選を突破し、三月のつくばでの二次予選に進むことができました。二次予選では全国から地学好きの高校生が集まり、試験を受けるだけでなく、研究機関の見学をしたり、夜通し地学の話で盛り上がりたりして、とても楽しい経験をすることができました。その時は日本代表に選ばれたことはなかったのですが、岩石鉱物部門特別賞を受賞することができました。翌年も一次予選を突破したのですが、二次予選の予定日の二週間前に東北地方太平洋沖地震がおこり、つくばも被災したので、二次予選は延期、六月に東京大学で行われました。そして、二次予選を突破し、面接を経て、IESOイタリア大会への日本代表に選ばれました。イタリア大会は九月上旬に北部のモデナで開催され、全スケジュールは一〇日間にも及びます。この一〇日間には試験だけでなく、国際交流や多国籍チームでのフィールドワーク(ITFI)などが含まれています。試験では、モデナの歴史的建築物の石材を同定したりするものもあり、日本の木造建築とは一味違う西洋らしい建築を楽しむことができました。ITFIのほうは、さらに北の、アルプス山脈の麓のアオスタという町に移動し、自分の班は地下水



イタリア大会にて
左端筆者

の水質調査の課題が与えられました。班のメンバーに同じ国の人は入れない規則なので、慣れない英語に苦労しましたが、自分が化学部に入っていることを伝えると、実験を任されてしまいました。シンガポール代表の人と夜遅くまで実験をしたのは今でもいい思い出です。化学部で培った経験が役に立ったと思います。結果的には銅メダルで、自分としては少し残念でしたが、仲間や海外での経験など、得たものは非常に大きかったと思います。日本では、地学を履修する人が少なく、自分も独学でした。しかし、環境問題の深刻化が懸念される二一世紀には地学の知識は必要不可欠であり、さらに日本は地震や火山、台風などの自然災害にも見舞われます。これからは、地学オリンピックOBとして、地学を志す一人として地学を研究し、広めていきたいです。

(リンケージアワード)

平成二三年受賞者

故郷への想い

私の心の故郷は？

一〇期
森 真弓

平成二四年四月、残り少ない人生を札幌で送ることにして移住。旭川ではないけれど故郷に帰ってきたと思っている。好天続きで毎日のように街、公園など探索。空は本当に空色、水色、青色。雲は、上等な真綿のように薄く、白く、優しい音が聴こえそうな風と踊りながらちぎれたりして、魅力的。公園の太い樹々は、遙か太古の昔を想像。空気は、緑の味がしておいしい、おいしい。何度も立ち止まって深呼吸。自然なんてナンボのモンじゃと思っていた若い頃を思うと何という変化。自然の美しさは、何よりもありがたい。年を取るのも悪くない（遅すぎるワイ）。最近観た映画で「人は、人生なんて選べない。ただ生きるだけさ」とハタチ位の若者がコ生意気に言っていて、七〇歳の私は、フーン、ナルホドと感心して。偶然面白そうな道を曲ったらここへ来たような気がした札幌。もしかしたら決まっていた道かもしれないし。とにかく、美しい故郷に帰ってきた。

P S ・ 八月一七日、映画「桐

島、部活やめるってよ」を観る。感動×3！ 高校生の青春。私の故郷は、コレかもしれない。

丘の学び舎

一四期
工藤 琢哉

私の母校は比布町立蘭留小学校。上川盆地の北端、塩狩峠近くの小高い丘の上にある小ぢんまりとした学校で、校歌の一節にあるとおりの『丘の学び舎』だった。

小学生時代の私は、とにかく遊びに熱中した。我が家で机に向かったのは一日平均一〇分もなかっただろう。家に帰るとランドセルを放り出し、学校に駆け戻って相撲や野球に興じる毎日だった。校舎の横を小川が流れ、沢蟹や小鮒をつかまえたりもした。裏山には青大将やシマヘビなどが巣くっており、暖かくなると校庭に這い出て来て、女の子達が悲鳴を上げていた。また裏山には数多くの小鳥が棲んでいて、今でも「小鳥の村」として親しまれている。自然いっぱいの学校だった。

◇ ◇

最後は北の大地で

一五期
佐々木茂雄

一九六五年に西高を出て、初めて生まれ故郷の旭川を離れてから早くも四七年の歳月が経ち、その間、大学（学生）↓企業（技術／管理）↓大学（教員）と、学び働きながら移り住んだ町は、札幌、大阪、東京、鳥取、山梨の五ヶ所であり、それらの土地で多くの人達との人間模様を織りなして来た。人の世は移り変わりが激しく月日は瞬く間過ぎ去り、まさに『無常迅速』の思いを強く感ぜざるを得ない。ふと気がつく、多くの出来事が走馬灯のように過ぎ去り、己の記憶に残る出来事がどの町で起こったのかがあいまいになるのは、やはり年のせいだろうか。

それに比べ、生まれてから一八年間過ごした旭川での思い出（記憶）は鮮明に蘇る。

例えば、実家が日章小学校のすぐ傍であったので、学校の始業ベルと同時に家を飛び出し、帰りは常盤公園や石狩川（旭橋）で道草を食ったこと・・・このような生活態度が中学・高校時代にも続き、恥ずかしながら西高校歌の最初の一節にある『研学いそむ』ことには程遠い毎日を過ごした。

しかし、その生活の中に経済

衆議院議員 今津 寛 (一五期)

国会事務所
〒100-8981
東京都千代田区永田町二二一
衆議院第一議員会館三三三号室
03-350617204

旭川事務所
〒070-0039
旭川市九条通九丁目五三三〇
0166-12216818

大好評！ 海鮮焼
コンロの上で北海道の食材いろいろ焼いてご賞味を！

味処 天金あきを

旭川市2条通6丁目左10号
0166-25-5830
信田 美恵子 (14期)

* 同期会、大歓迎です *

Super Select Engineer
SYSTEM
発泡ウレタンによる断熱工事

株式会社 アイシステム

建設業（般-22）石第14749号
〒003-0839 札幌市白石区北郷9条9丁目3番
TEL011-875-1154 FAX011-875-7334

代表取締役 川村 三幸 (14期生)

北海道伝統美術工芸村

優作織工芸館
国際染織美術館
雪の美術館

〒070-8567 旭川市南が丘3丁目1-1
Tel. 0166(62)8811 館長 木内 和博 (15期)

ITインフラの構築・運用

アクティブ・アイティ株式会社

代表取締役 板倉 喬 (15期)

〒101-0021
東京都千代田区外神田 3-10-12
日加石油ビル3F
TEL 03-5294-2071
FAX 050-7539-1271

愛心メモリアル病院
医療法人社団 愛心館グループ

愛心補聴器クリニック
愛心内科消化器科クリニック

訪問看護ステーションあいしん
介護支援ステーションあいしん

介護老人保健施設プラットフォーム
求職ライン訪問看護ステーション
求職ライン看護所介護事業所
在宅介護支援事業所相談センターレイル

医療法人社団 愛心館
理事長 高橋 順一郎 (14期)

011-752-3535 <http://www.aishinkan.jp>

的には豊かではないが、何事にも束縛されない自由があった。素晴らしい仲間恵まれ、縦横無尽に活動できる風土が故郷にはあった。この自由奔放な躍動感が他の町での生活に比べて深く心に刻み込まれている。

従って、現役社会人として最後の大学教員の職が解かれたら、大雪山系の四季折々を楽しむながら、北の大地での生活に戻りたいと強く想うこの頃である。

四三年目の同期会



二〇期
星野 宏光

平成二十四年一〇月二〇日(土)、旭川ロワジュールホテルで旭川西高二〇期生の「還暦プラスワン同期会」が開催されました。雨模様の寒い日でしたが八〇名以上の懐かしい顔が集まり、夜遅くまで語らいました。その中には在学中の懐かしいイベントやロマンス、木造校舎や隣の常盤公園、活気があった繁華街などの話もあり、どこでもドアで四三年間の空白を一気に埋めた感がありました。一方、卒業後の人生やこれからの生き方の話が多かったのも事実です。自分も昔は考えもしなかった老後が目前となり、改めて人生を振り返ると全てが安易な選択の積み重ねだったという思いが湧きま

した。仕事、結婚、離婚、転職などの大きな問題は勿論、毎日、毎秒迫って来る問題にも余り考えずに選択して来た人生だった。同時に、満足も後悔も反省さえもできないのは他の選択肢の結果を見ることができなかったからだ、と自らを慰める自分も居りました。悲しいことも楽しいことも十分過ぎる程ありましたが、選択が正解だったのかは分からない人生だと考えさせられた夜でした。

最後になりましたが、今回盛大な会を企画、運営して下さった幹事の皆様と、駆け付けて下さった三名の恩師の先生方に心よりお礼申し上げます。何物にも代えがたい、本当に楽しいひと時でした。

(注) 写真の頭は、人生を懺悔して毎日剃っているものです。

先生はお見通し!



二五期
高瀬 一嘉

中富良野、旭川、札幌、京都、奈良、東京、大阪、那覇、大阪、札幌、東京、さいたま、札幌、東京、千葉、宇都宮、東京、そして現在の大阪。転勤族の宿命で全国を飛び回っている私にとって、故郷中富良野は、常に他の土地との比較の対象であり、忘れることのできない特別な存

在です。その中富良野の親元を離れて旭川市内の北門町に下宿をしながら、西高に通い始めたのは、今から四〇年前の事でした。思い出のエピソードを一つ紹介します。秋には、恒例の校内マラソン大会が行われました。石狩川沿いのサイクリングロードを走る男子一二キロ、女子六キロの行程でした。折り返し地点では、先生が赤マジックで手にしるしをしてくれるのが慣例となっていました。優勝争いを演じる人はともかく、その他大勢の部類に入る者にとって、完走することが目的でした。が、三年生ともなると、一二キロというのは、結構きつい距離でした。そこで、私とその仲間は、一計を案じました。あらかじめ赤マジックで手にしるしつけて最後尾を走り、途中の草むらでしばらく休憩してから、引き返し、最後尾を走ってゴールする計画を立てたのでした。これなら順位をごまかしたことにならないだろうと考えたのでした。当日は、首尾よくゴールイン、と思いきや、「その三人、失格!」と体育のK先生の怒鳴り声。よく見ると、他の生徒の手には青マジックのしるし。折り返しのごまかしを防ぐため、その年は、マジックの色を変えていたのでした。K先生にこっぴどく怒られたのは言うまでもありません。天網恢恢疎にして漏らさず、先生、本当にごめんなさい。

ハッピで出会える おしゃれな一品 デザイン工房

あかり・時計・器・ガラス・竹炭・他

工房&ギャラリー
ハンドメイドインテリア用品
デザイン・製作・展示・販売

20期 松田広昭
TEL: 090-4028-5241
E-mail: matsuda@za3.so-net.ne.jp
URL: http://www.design-subaru.com
〒409-1501 山梨県北杜市大泉町西井出 8240-1

●中央高速 長坂インターから清里方面 約10分 甲斐大泉駅下
●中央線 小淵沢から小海線 二つ目 甲斐大泉駅 徒歩1分

新しいお墓のかたち

東京浅草の永代供養墓

真宗大谷派 勝龍山 等覚寺

東京都台東区元浅草2-10-17

03-3841-2844

www.tokakuji.com

荒川 繁(20期)在住のお寺

医療法人社団

井内歯科医院

井内 恭夫(15期)

〒247-0056

鎌倉市大船1-24-19

TEL 0467-45-5819

北海食堂 カムイ

35期
秋山



日曜定休日
夜 17:00 ~ 22:30

〒270-0034 千葉県松戸市新松戸 1-354-2 2F
TEL 080-1216-8637

あなたの「作品」を 本にしませんか。

原稿募集中



幻冬舎グループの個人出版

幻冬舎ルネッサンス

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-9-7
TEL: 03-5411-7188 FAX: 03-5411-7189

uni.plan

ユニバーサルプランニング株式会社

小林 信雄(21期)

〒171-0033 東京都豊島区高田3-31-5

TEL: 03-3984-4405(建築部) TEL: 03-3980-6200(土木部)

FAX: 03-3984-4415 E-mail: kobayashi.n@univ-plan.co.jp

旭川ラーメン食べ歩き

なつかしい旭川の味を、東京近郊でさがしました。このところ旭川から出店していたお店の閉店があいつぎ、淋しい感じが、ご紹介する五店は頑張っています。

伝承ラーメン「北都」



中央区築地4-7-5
築地共栄会ビルB 1 F
TEL 03-3541-8610
営業時間 平日 11:30~19:00
休日 日曜・祝日

「山頭火」原宿店



渋谷区神宮前6-1-6
角田ビル1F
TEL 03-5464-5521
営業時間 平日 11:00~23:00
無休

食通が集まる築地交差点のビル地下一階、激戦区です。
ご主人は一〇年前五八才で建築設計事務所を退職し、この場所で開店しました。お父さんが大晦日によく作ってくれた「旭川五十番」の味を伝えたいという。羅臼昆布など十数種のだし、黄金色スープが自慢です。さっぱりした味で、とてもコクがありました。
ご主人と同じ一二期の旭川須藤製麺から特別に加水率を抑えた麺を取り寄せています。



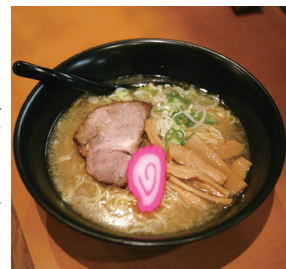
店主の込山俊二さん(12期)

東京に出店して二〇年。原宿店は、九年目。とん骨ベースに昆布・野菜数種のスープです。いまは、店舗が増え、フランチャイズ化して、材料などすべてベイスが本店と一緒に買ったという。チャーシューは豚のほほ肉を柔らかく煮てトロリとした食感が看板。東京のお客さんは七割近くが塩を注文するそうです。



山頭火の看板文字は10期の照井嘉市氏が書かれたものです。

「SAIJOやいじょう」



港区高輪3-26-20
品達ラーメン
TEL 03-5475-3955
営業時間 平日 11:00~23:00
無休

品川駅から一分、品達の「ラーメン達七人衆」の一軒として出店。春光町の本店が「旭川ラーメン大賞 塩部門」で第一位になった「その味を東京で」がウリです。大雪山の美味しい水にこだわりの、スープは本店から。中太のちぢれ麺は、旭川須藤製麺。やっぱり塩を食べてほしい、のは当然ですが、正油を食べて思った。ああ、昔食べた旭川の味!!

「こもり」四谷店



新宿区四谷1-20
TEL 03-3341-5305
営業時間
平日 11:00~23:00
土日休日 11:00~14:00,
18:00~22:00
無休

四谷しんみち通り。店内は動物園のポスターなど、旭川が全面に出ています。特一番系で一八年になります。だんだん東京のお客さん好みに合わせて脂っぽさをおさえてきたそうです。だしは鰹がベース、仕上げ

にかつお節の粉が入っています。みそ味が一番人気ですが、カレー味まであるバリエーションの多さに驚きました。縮れ麺は、蜂屋から。
店主はもちろん旭川出身です。

元祖旭川ラーメン

「ペーぱん」



横浜市南区高砂3-34
TEL 045-243-0595
営業時間 平日 11:30~21:00
休日 毎週水曜日

天金で修行して、夫婦で横浜に店を構えて一八年。何と言っても、旭川の藤原製麺から直送される麺が懐かしい。鶏ガラ、豚ガラ、豚のゲンコツを使ったスープにちぢれ麺がからみます。写真の正油ラーメンは、力強いしつかりした味で、後味はスッキリです。店名は奥さんの出身地「米飯」から。



FoodFood & DrinkDrink Hasegawa
長谷川商事株式会社

長谷川はるひ (24期)
(旧姓 棟)

〒410-1115 静岡県裾野市千福が丘1-18-5
Tel/Fax 055-993-9863
サファリパーク店 055-998-1378
E-mail hasegawa-9863@ab.thn.ne.jp

海外の酒類コンクール 28年連続ゴールドメダル受賞



本郷屋男山本家
男山株式会社

北海道旭川市永山2条7丁目 TEL.0166(48)1931

代表取締役社長 山崎與吉 (21期)

ね、帰ろ、
銀座の旭川に。

季節料理 いわ井

〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-10 銀座シヨール9F
Tel.03-3574-6406 西山敏江(比布出身です。お電話ください)

先輩を訪ねて

庁立旭川高女卒業、現在郷土誌「あさひかわ」を発行し、安部公房の従姉である渡辺三子さんにお話を伺いました。

―女学校時代は如何でしたか。

良妻賢母の教育方針に批判的でした。東鷹栖村の田舎で生まれ、自由な両親のもとで育ちましたので。旭川駅から五里の所なので市内に父が家を借りてく

れました。六年の一学期に大成小学校に編入し、妹と一緒に住

みました。先生には市立高女を受けなさいと言われ、父には庁立を受けると言われました。

受験の為、家の財産を知られ、先生に「あなたの家はお金持ちなのね」と言われました。当時は経済的な事も調べたのですね。

家は地主で、塩、酒、たばこの免許を持つ雑貨屋を母が。父は東鷹栖の役場の収入役でした。四年間の思い出は卓球ですね。札幌に遠征にもいきました。

―卒業されてからは？

両親と四人で札幌に住みました。その間結婚にもかかりました。戦後、渡辺と結婚して東京に出ましたが、腎臓の摘出手術

の為四年で旭川に戻りました。渡辺の発病で日興証券に五年勤めました。

―それから郷土誌「あさひかわ」が始まるわけですね。

当時、同人誌は「三号雑誌」と言われる程、すぐ廃刊になるような時代でした。木内綾さん（優佳良織創始者）のアドバイスで、集まった五万円で広告三六ページの雑誌を作ることになりました。発刊は一九六〇年、始めは隔月刊でした。一〇年間は一人でやってきましたが、東京で一八年間マスコミ関係で働いていた妹に手伝ってもらい月刊誌になりました。もう五一年になります。五〇〇号の時は盛大に特別な号を作りました。

―いつも肩からカメラを下げて取材をされているとか？

町の出来事、庶民の催しなどどこにでも出かけていきました。NTT全国のアウン誌の奨励賞を頂いたこともあります。またアウン誌の全国旭川大会を主催したときには三浦綾子先生に講演をお願いし「アウン誌は街の灯だ」との発言に皆さん拍手喝采でした。

旭川での家の隣りが三浦先生が三〇年間住んだご実家でした。



安部公房資料室にて



後に知る事になるのですが、私のことも覚えていて下さり、感激しました。人とのご縁、おつき合いが大切ですね。

―安部ヨリミ（公房の母、大正八年庁立卒）の「スフィンクスは笑う」の小説の事が、新聞の書評欄にあり驚きました。

私が東京にいる時に、公房がその本を持って現れ、面白くて一気に読んだ記憶があります。国立図書館に一冊あると聞いて

いましたが、今回の本は公房の娘が出したのでしよう。

―編集室の一角に安部公房文学室がありますか？

公房の父と私の母が姉弟で公房とは従姉弟の関係です。「生まれは東京、原籍は北海道」と公房が生前公言していました。が死

後旭川市東鷹栖父祖の地に本籍があつた事を初めて知りました。三四〇点を越える資料を展示しておりますので、是非ご覧下さい。

―「安部公房記念祭」でニューヨークに行かれたそうですね。

平成八年（一九九六年）四月、ドナルド・キーン日本文化センター主催（後援・新潮社他）でコロンビア大学で開催、道内出席者が一人もいないので急遽出席。キーン氏に表紙、棟方志功、安部公房の追悼特集号の小誌と優佳良織の名刺入れをお渡しして喜んでもらいました。一ヶ月にわたる多彩な催しでスケジュールの大きさに圧倒された二週間で

した。

―これからも現役で続けられることを願っています。

旭川と共に生きてきました。町村、近郊あつての旭川です。砂澤ビツキや、小熊秀雄賞、「彫刻のまち旭川」など、人間が創り出す文化を大事にして続けていきたいと思っています。

―これから三〇回総会報告

クルーズ同窓会を終えて

開催まで色々議論がありましたが、ある意味「無謀」かもしれないが貸し切りクルーズ同窓会を無事開催することが出来ました。執事部の皆様、各幹事の皆様、同期の仲間たち、そしてなにより、当日多くの出席して頂いた皆さまのお陰と深く感謝致します。

例年行なう「イベント」はピアノ演奏だけにとどめ、クルーズ自体をイベントに感じられるように、内容的には複雑なものはありませんでしたが、やはり、今までになかったクルーズ同窓会では、遅刻がNG、当日の天候、事前人数の把握等、今までになかった心配事があったのも事実です。それでも、受付時の混乱が一部あり皆様にはご迷惑をおかけ



実行委員長
二四期
荒明 浩登

三〇回総会報告

クルーズ同窓会を終えて

したこと以外は、何とかクリア出来ました。そして、あつと言う間の帰港時間となった二時間でしたが、皆さまを下船口で見送りさせて頂いた際に、多くの方から「とっても楽しかったよ」とのお言葉を掛けて頂き、このクルーズ同窓会を開催して本当に良かったと感じたと同時に、皆さまの多くの支えと、二四期の仲間の友情を改めて感じる事ができて、これが旭川西高東京同窓会の素晴らしさだと強く実感させられました。

三一回総会も三〇回同様に、順送りの場合の三〇期が組織化できないため、一〇期の皆さまが中心となつて一五期、二〇期合同の実行委員会で対応して頂いておりますが、皆さま経験豊富な先輩諸氏ですので、また楽しく素晴らしい総会を企画していただけるものと期待しております。

最後に、今回の貸切クルーズ実現に多くのご協力を頂きました二一期の(株)大島椿の豊田様と東海汽船(株)様にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

第31回総会にご協賛戴いた皆さん

13期 綱島正寛 様

18期 渋谷正利 様

18期 御一同

第31回総会にご協賛戴いた皆さん

- 13期 綱島正寛 様
- 18期 渋谷正利 様
- 18期 御一同

連載
第26回記憶の中の旭川
夢三期
大内 秀夫

日 残りテ

昏ルルニ 今夕遠シ

小さな雑誌の編集長を任されていた折、一度長話させて頂いた作家の故藤沢周平先生（たそがれ清兵衛、蟬しぐれなどの著者）の詠める詩。その時戴いた原稿の題名は「ふるさとへ廻る六部は」。全国六十六ヶ国の寺社に法華経を納め歩く行脚僧六部が、志と夢を抱いて勇躍ふるさとを出たが、年をとり、老を感じ、心と脚はまた自然とふるさとへと向いてしまう…。

先生との話がこの歳になると身につまされ、思い出される。西高を卒業した昭和二八年は、吉田茂内閣のバカヤロー解散、伊藤絹子がミス・ユニバースに、女性八等身に憧れたそんな年。ふるさと旭川は、どの通りからも清爽大雪山連峰が眺められ、石狩川、忠別川の清流（だった）に身を洗われ、何もない時代だったが、ふるさとのよき風土に育まれた若人たちは、家の事情が許される限り、夢を抱いてふるさとを飛び出していった。

夢が夢だと気付いて、もうど

日 残りテ
昏ルルニ 今夕遠シ

れくらいだったろう。いや、世の中自体、夢がなくなっていくようだ。当り前に人工衛星が飛び交う今日、UFOは誰もみなくなつた。お月さまに兎がいる話は、小さな子供も信じない。ネッシーもネス湖に潜ったまま、雪男はどこを歩いているのやら…。そんなロマンあふるる夢物語は、いつの間に消えてしまった。もうここまで歳を重ねると、世の中のシクミがだいたい判つてしまった気になり、それはムリだ。そんなコト出来っこない。と、自分の安楽椅子から立ち上がろうとしない。しかし歳をとったヨサもある。若い時になかった図図しさと、言つたら言い過ぎか。学生時代、声もかけられず、密かに憧れたあの子に、同窓会で思い切つて話かけてみようか、と思うのは、ささやか過ぎる夢だろうか。いやいや、そんなコトない、でないかい。（突然お国訛）同窓会は本来、若き日のささやかな夢蘇る場なのだから。あの子だって、きつと…。

執行部だより

・平成二六年度版名簿発刊中止について

当会の会員名簿は、五年毎に改訂版を発刊してきました。次回の改訂は平成二六年度となります。しかし、冊子としての名簿は個人情報として悪用される恐れもありますので常任幹事会に図り、改訂版の発刊を中止することと致しました。ご理解を頂きたいと思ひます。但し、組織委員会では、毎年総会案内を皆様にお届けするために引き続き名簿の管理・改訂に努力して参ります。引越しや住居表示の改正など住所の変更がありましたら、

各期幹事さまを通して執行部にお知らせ頂きますよう、お願いいたします。

・記念誌発行について

私たちの旭川西高東京同窓会は、昨年の総会で、三〇周年を迎えました。これを祈念して記念誌を作成致しました。過去三年間に会費を納めてくださった会員様には、総会案内に同封して贈呈させて頂きましたが、同封できなかった会員の皆様の中で、ご希望の方には、年会費をお収め頂くか同額の協力をいただくことでお送りしたいと思ひます。各期の幹事様又は事務局までお申し出ください。

お知らせ

故郷旭川からのおしらせです。この会のメンバーの方も青雲小学校の卒業生は、数多くおられると思いますが、二〇一三年（平成二五年）七月に、開校一〇〇周年を迎えます。記念式典および祝賀会は、左記の通りです。

卒業期によつては、同期会（クラス会）等イベントが企画されております。卒業生は旭川に目を向けて参加しませんか。

日時 平成二五年七月一日(日)

記念式典 青雲小体育館
記念祝賀会 グランドホテル
（詳細は同校のHPで）

編集後記

今年の実行委員会は、一〇期、一五期、二〇期の混成チームで進めてきました。初めての試みで、これからの課題です。「西高通信」は一五期が担当しました。旭川ラーメン店訪問では、訪ねて行くと、店がない!! 苦戦しているようです。

三ページで紹介した松岡さんから、北大の本堂副学長にお目にかかれて、大変嬉しかったとメールが届きました。

渡辺三子さんには貴重なお時間を頂き、ありがとうございます。バツグンの記憶力に感服。原稿をお寄せ下さった皆様、誠にありがとうございました。

平成23年度 旭川西高東京同窓会 会計報告

（平成23年6月1日～平成24年4月30日）

平成24年6月25日	
科目	金額（単位 円）
収入の部	
前年度繰越金	2,888,449
年会費 30回総会出席者当日分 289人	289,000
年会費 振込及び現金受領分 357人	369,000
30回総会剰余金	123,152
西高通信広告・協賛金	340,000
雑収入	3,016
収入計	4,012,617
支出の部	
総会費 <30回記念総会費25万円を含む>	377,210
西高通信製作・配布費	325,932
通信費	34,187
印刷・事務用品費	61,919
会議費	111,500
ウェブサイト維持費	120,000
慶弔費	24,095
雑費	52,152
次年度繰越金	2,905,622
支出計	4,012,617
監査報告	
会計報告書は証憑書類と照合し、精査の結果正確なることを確認いたしました。	
旭川西高東京同窓会 監事 阿部 従道 (13期)	

